

知働化研究会誌 第2号

EXEKT Review Volume Two (November 2015)

アジャイルプロセス協議会
知働化研究会

2015.10.28 編集

本誌掲載の記事は、アジャイルプロセス協議会/知働化研究会の活動成果をまとめたものです。著作権は、各記事の著者に属します。各記事の内容は、知働化研究会サイト (<http://www.exekt-lab.org/>) に掲載、あるいは、関連しております。お問い合わせ、ご質問などは、個別にお願いいたします。また、本誌全体に関するお問い合わせは、otsuki.s@lcorp.co.jp (大槻) までお願いいたします。

序 5

巻頭言

5

知働化研究会のあゆみ

7

知働化研究会誌 Volume 2 の概要

論文 7

知平：知働化のゆくえ

大槻繁 13

哲学・科学・工学・経済・経営のヒント

良い道具と良い職人

高橋雅宏 37

契約はアジャイル開発プロセスに追いついたのか Vol.2

分散システムが決める進化の方向性

萩原正義 57

第2 技術としてのアジャイル

羽生田栄一 65

バーンダウンチャートと
プレッシャー

水越明哉 69

アーキテクトとは

濱勝巳 75

ゆる思考

本橋正成 81

知の「ながれ」と「きわ」知を働かせる

おもてなし

塩田英二 85

随想 153

知働化フォーラム 2015 を終えて 87

山田正樹氏『知働化の最前線』解説 109

スライド集 169

ソフトウェアの未来をつくる
大槻繁 131

知働化の最前線 山田正樹 139

アーキテクチャ主導の
企業システム 中山嘉之 165

地球規模のクラウド競争の
勝者を決める技術とは何か 萩原正義 179

工業化の負債からの脱却 濱勝巳 187

結 199

編集後記 201

今後の活動 203

※) 目次中著者名記載のないものは、研究会誌の体裁を整えるために書き下ろしたもので、文責は大槻（本誌編集担当）にあります。